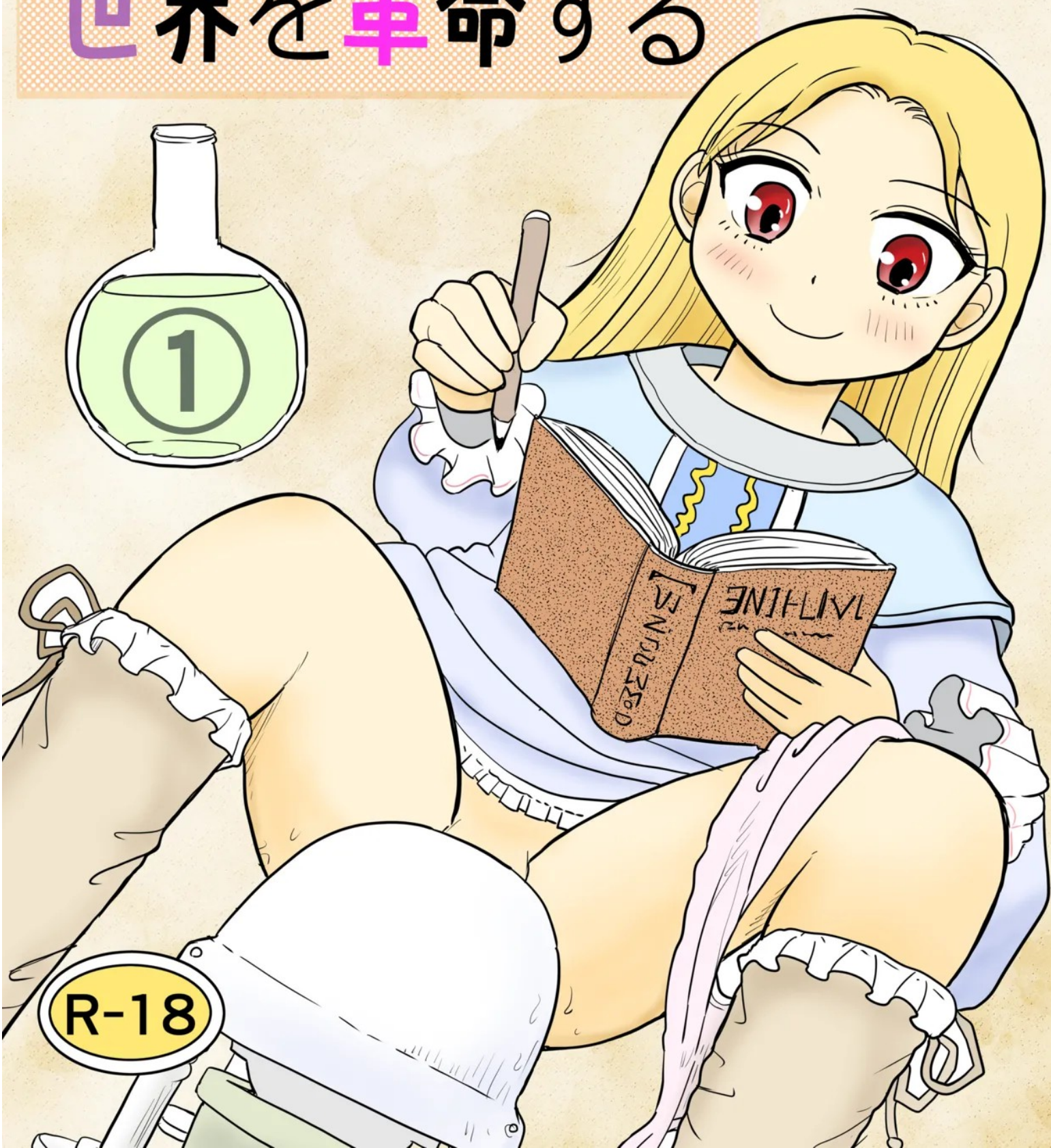


TS聖女ちゃんは  
おしっこで  
世界を革命する





うん：  
数値も安定して  
いますね

これなら  
週末の  
退院許可  
出せそうです

ほんとですか  
先生！ありがとう  
ございます！

オレの名は  
徳田 圭  
40歳独身  
彼女無し

転科したのは

ひとえに

過重労働が

年齢とともに

きつくなった

からである

数時間に渡る

オペを日に

2回とか

正気の沙汰

ではないだろ

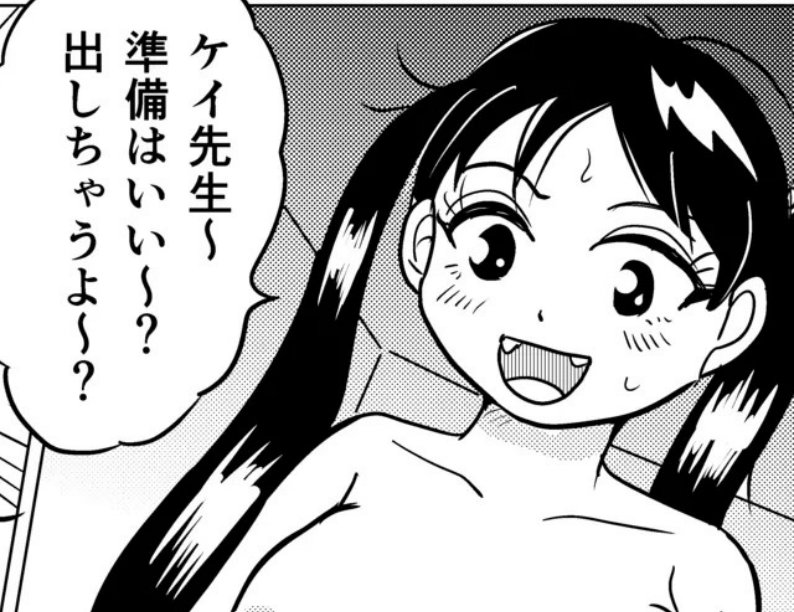
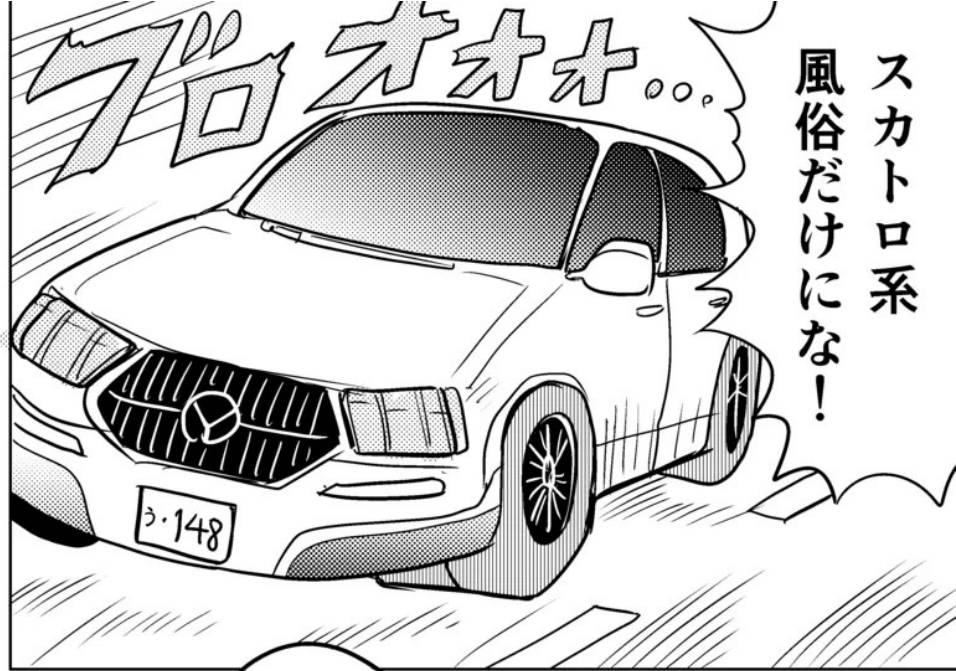


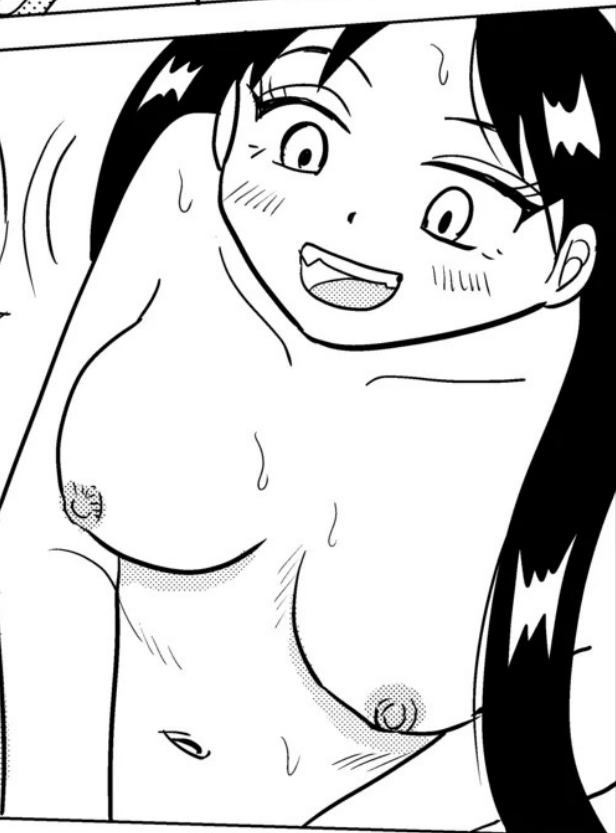
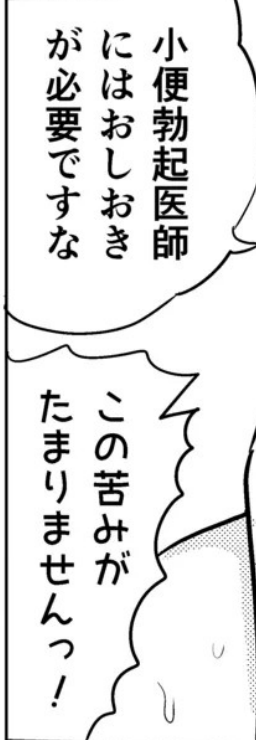
都内の大学病院で  
以前は外科…今は  
内科のおっさんだ

内科にしても  
それはそれで  
ストレスが…

まあ今日はあそこの  
予約をしているしな…  
スカッと解消しよう





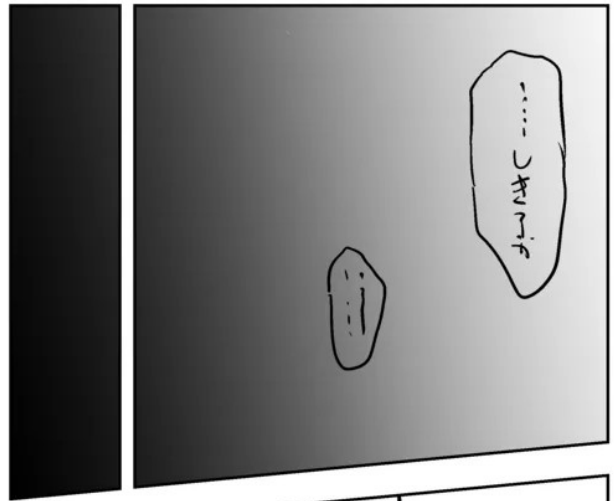
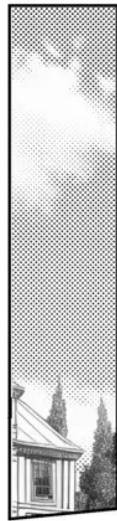




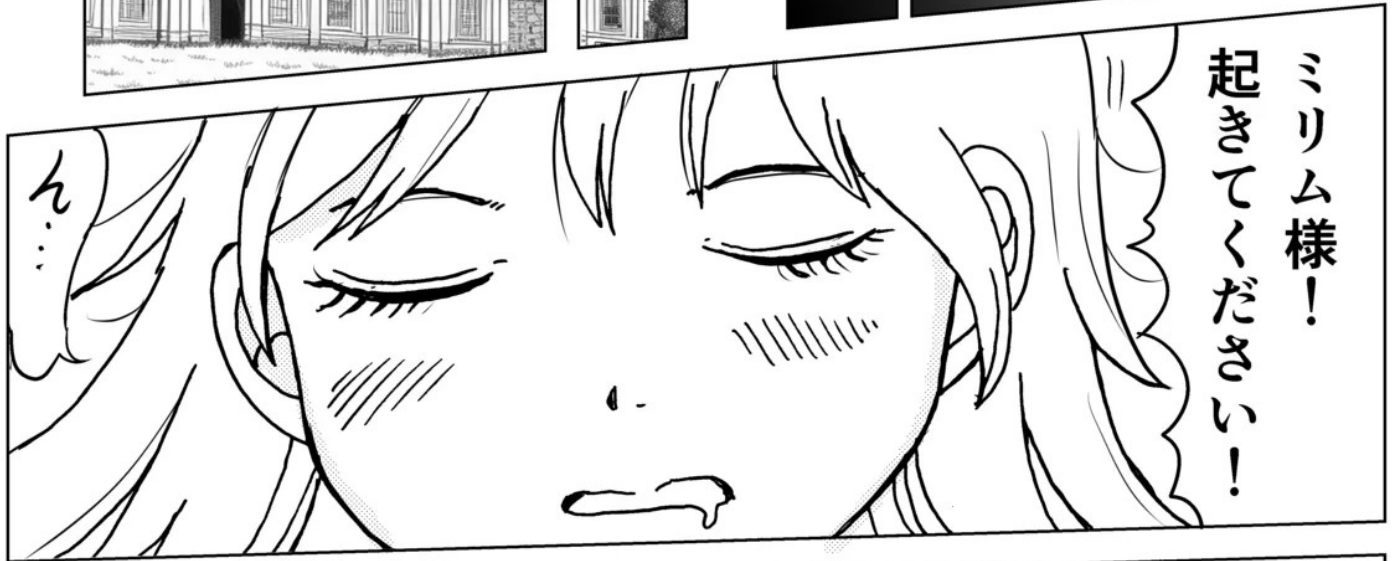


お嬢様！  
起きてください！

お嬢様！



……しぎふ



ミリム様！  
起きてください！

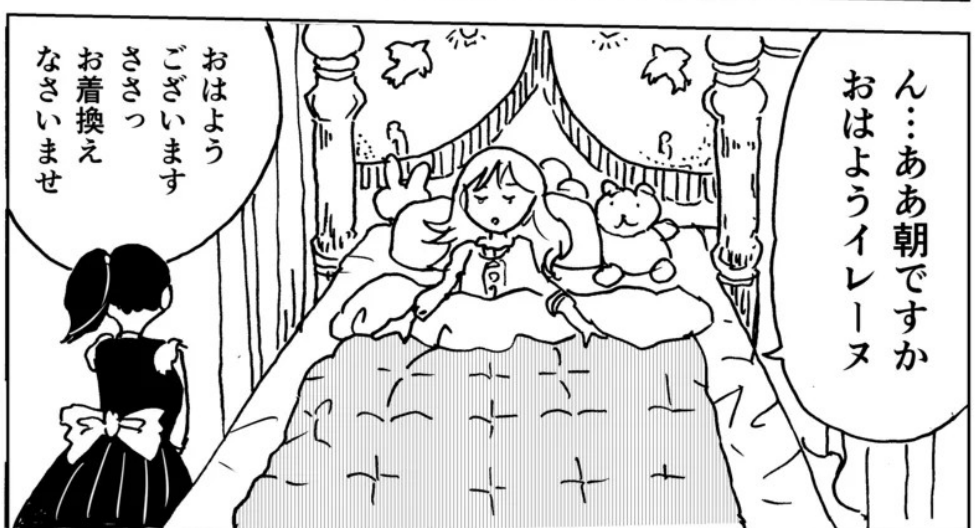
ん……



今日は10歳の誕生日  
透視神託の儀  
当日でございます

ん……んん？

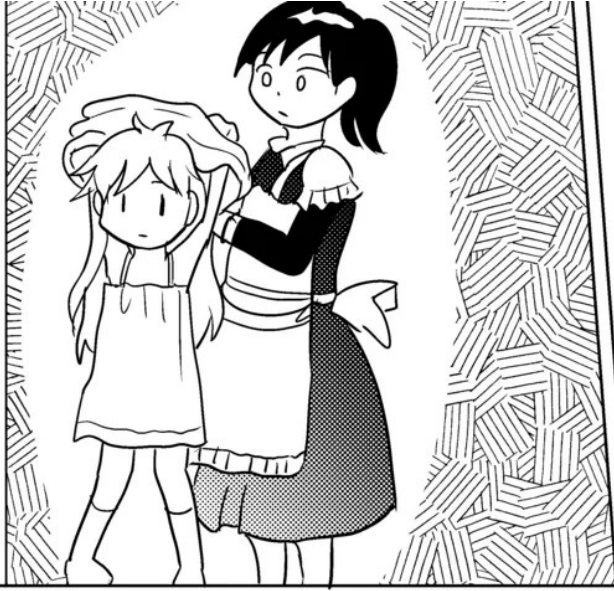
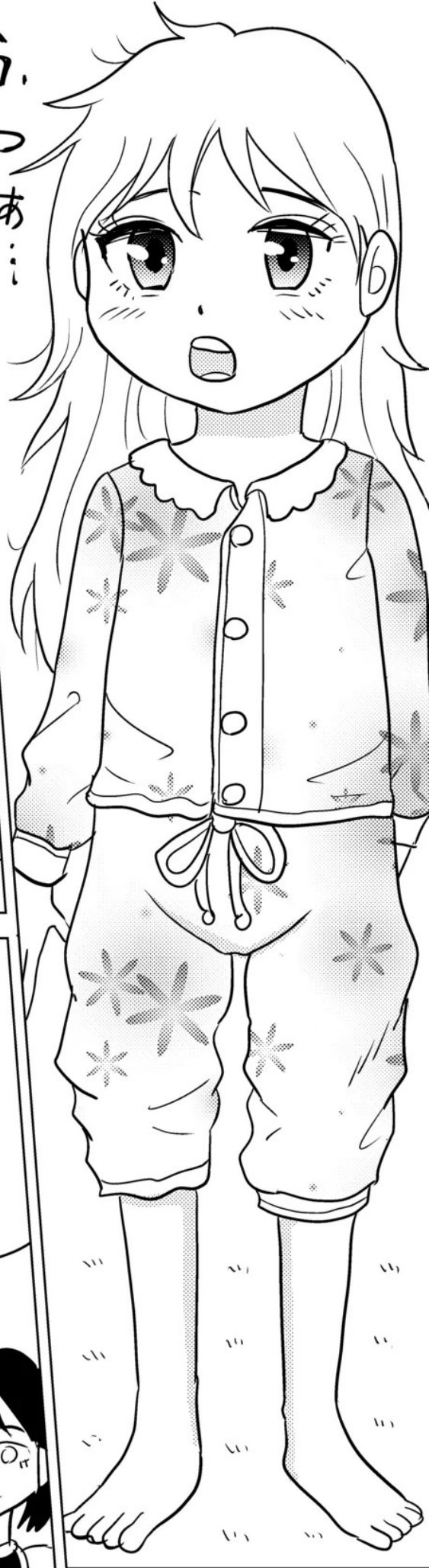
早く支度を  
しなければ  
遅刻です！  
神殿に迷惑が  
かかりますよ！



ん……ああ朝ですか  
おはようイレーヌ

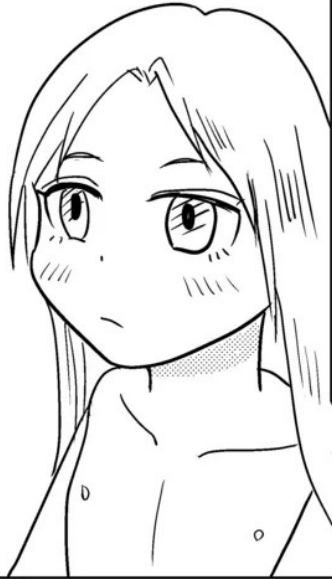
おはよう  
さあ、おきます  
お着換え  
なさいませ

ふわあ...



わたしの名前は  
ミリム・ブルーレット  
エリエール王国の伯爵令嬢だ

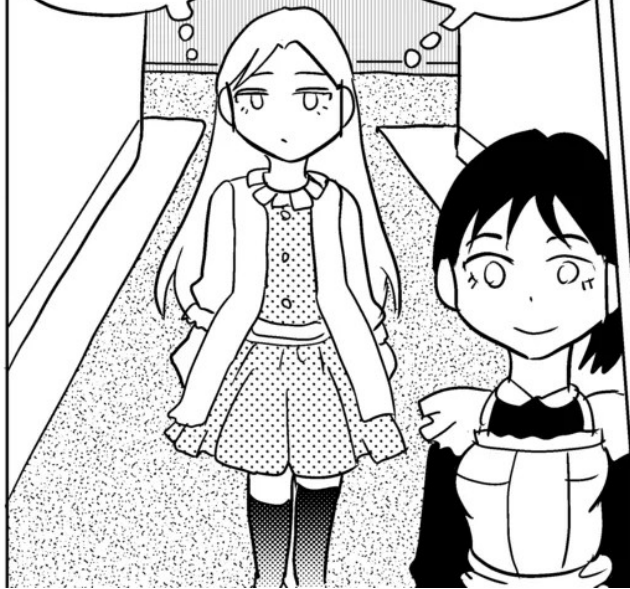
今日は子ども達の  
将来のジョブが  
占われるという  
透視神託の儀の日



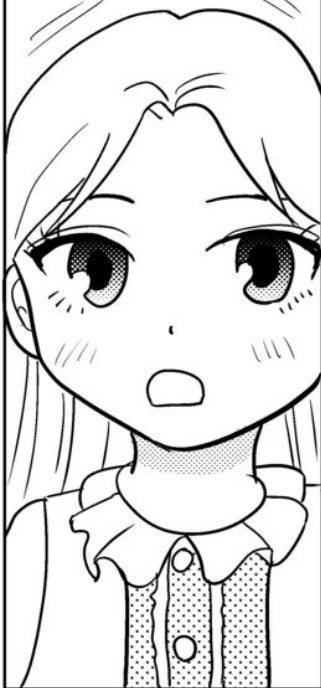
自分に向いている仕事か...  
いったいなんだろう？  
...なんとなくだが医者に  
向いてそうな気がする

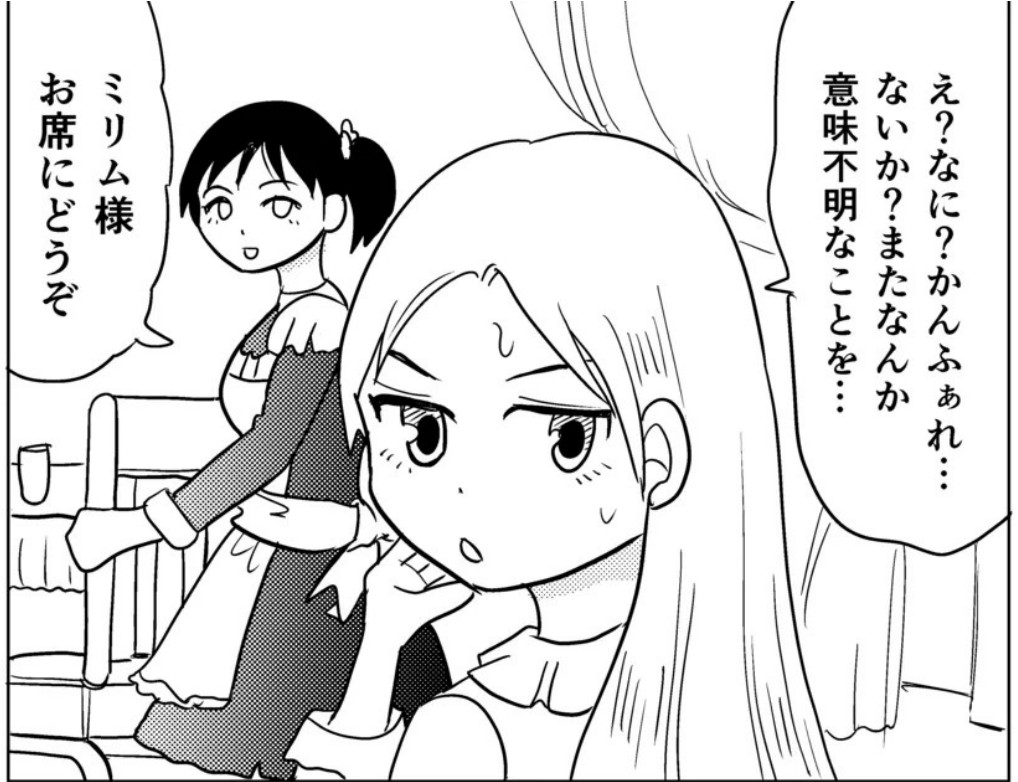
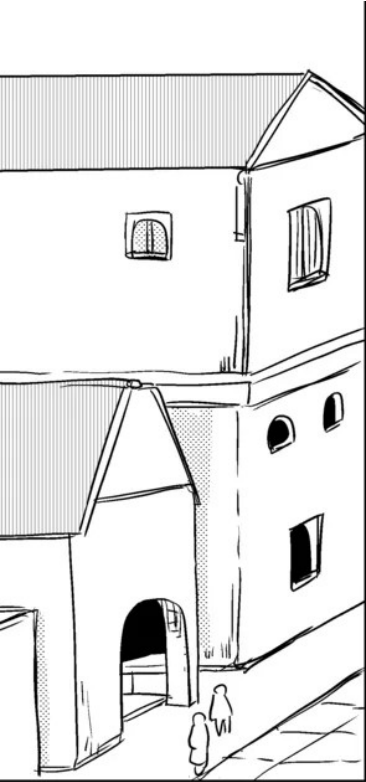
あ...そろそろ  
カンファレンスの時間だ  
うーん303の田中さん  
どうするかな...

できればまだ  
内科での経過観察で  
抑えたいんだが...  
西本先生はすぐ切り  
たがるからなあ...



ピョ





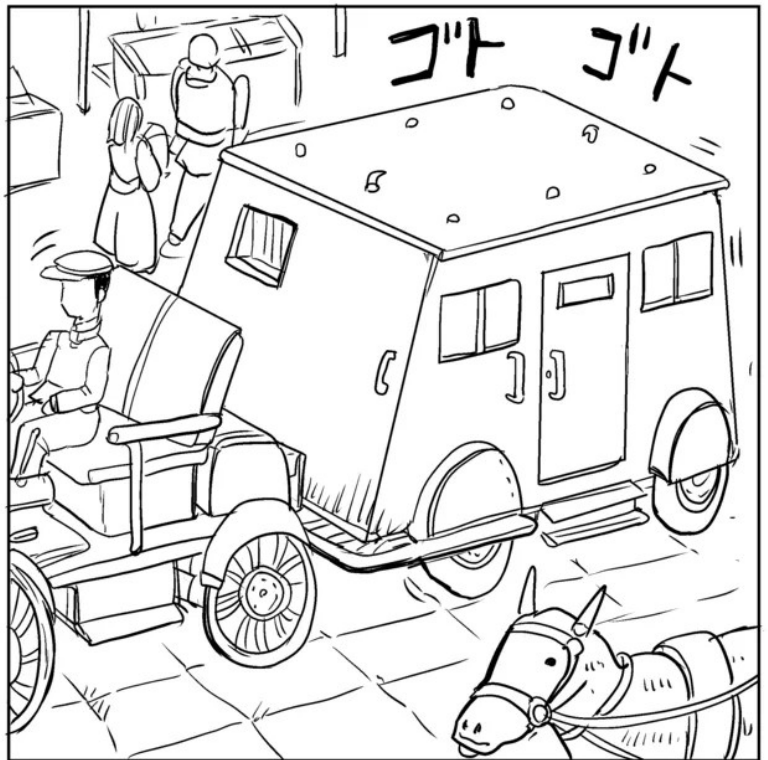
ミリム様  
お席にどうぞ

え？なに？かんふあれ…  
ないか？またなんか  
意味不明なことを…



娘の晴れ舞台  
だというのに  
お父さまも  
お母さまも  
来れないなんて  
薄情なこと  
ですね

お忙しい方  
ですから  
しかたあり  
ませんよ



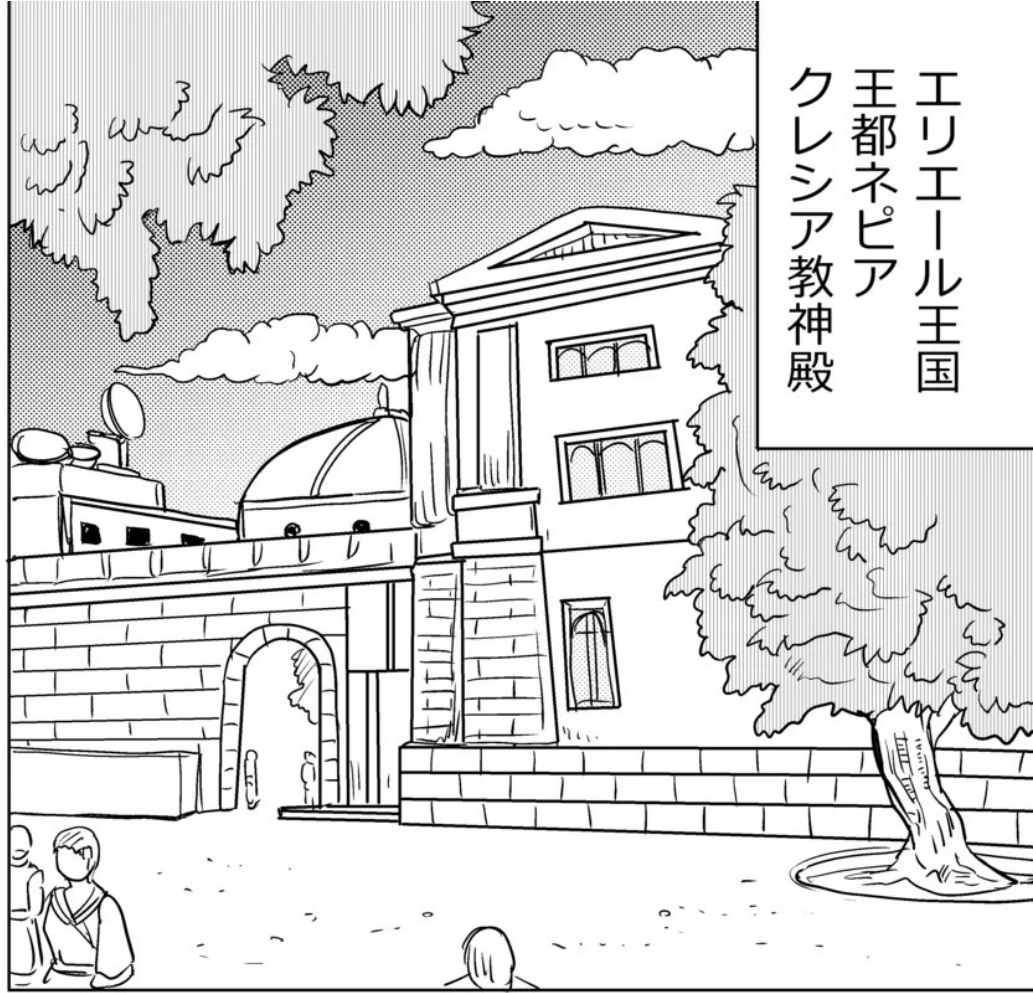
40を過ぎてできた末の女児なんて  
「まあ適当に元気でやれ」みたいな  
感じでしょうか？  
お：神殿につきましたね



年の離れた兄は  
家庭を迎え後継教育中  
次兄も政務をしている  
上の姉は他領地へ嫁ぎ  
下の姉は国立学院で優秀な  
学生として活躍をしている

忙しい…か  
つまるところ  
わたしの  
進路に興味が  
ないのだろう

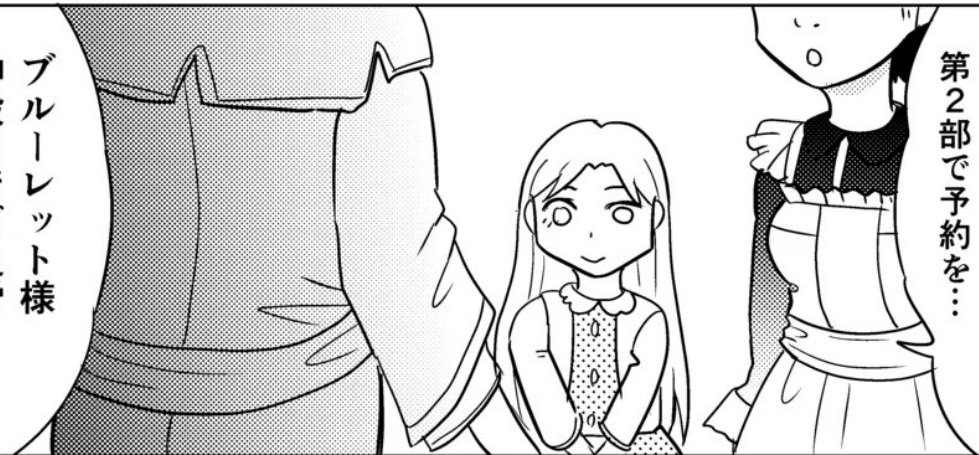
エリエール王国  
王都ネピア  
クレシア教神殿



ようこそ  
いらっしやいました

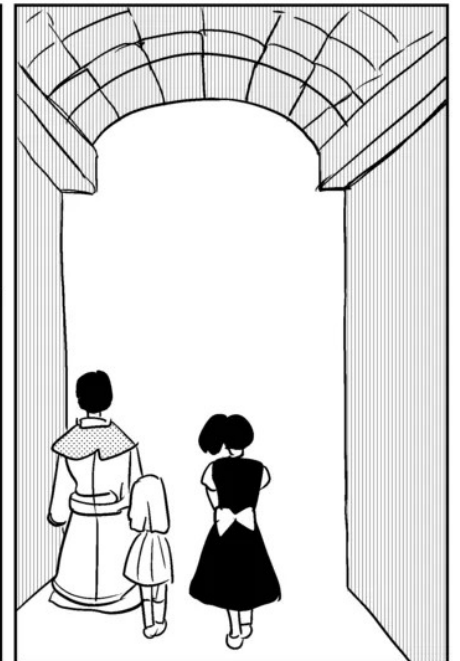


こちらは  
ブルーレット家令嬢  
ミリム様です  
透視神託の儀の  
第2部で予約を…

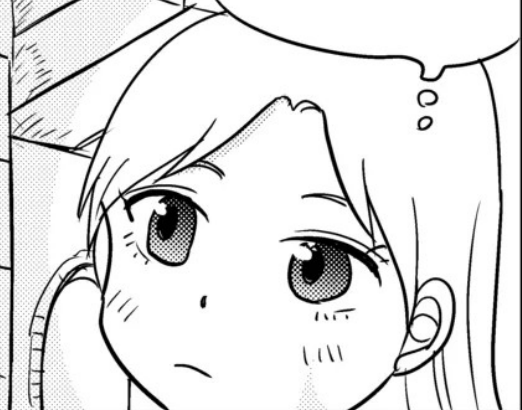


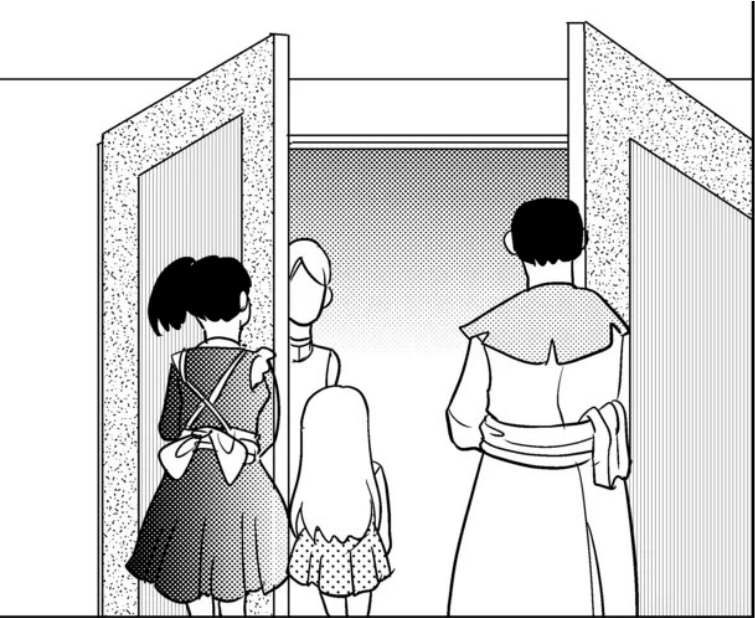
ブルーレット様  
神殿までご足労  
感謝いたします  
聖堂まで私が  
ご案内いたします

神殿か…  
以前ヨーロッパ  
行ったときに  
ノートルダム  
大聖堂は見たが  
あれとは  
違うんだな

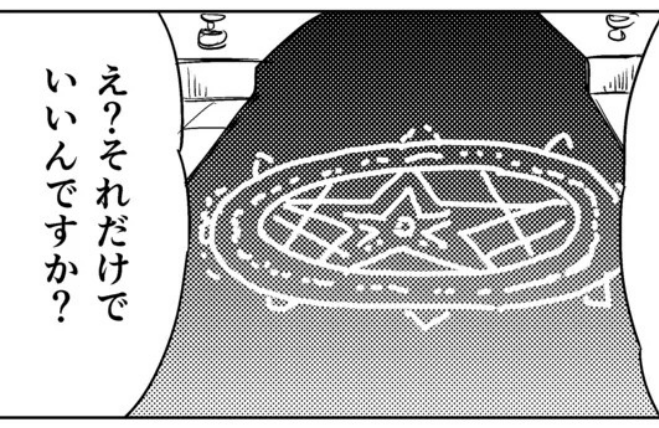


ゴテゴテしてなくて  
質実剛健という感じだ  
まあこういう方が好きだが





難しい顔して  
どうかされましたか？



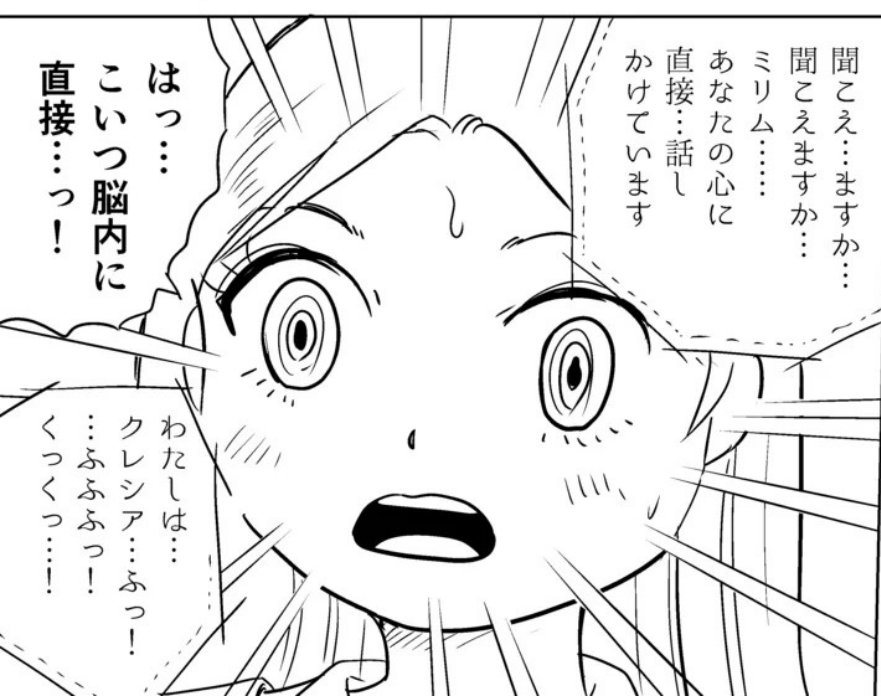
その陣の上で  
クレシア様の像に  
語り掛けてください  
神託がございました

え？それだけで  
いいんですか？



なんかもつと  
仰々しい  
儀式とか  
あるかと  
思ったけど

え〜クレシア様  
聞こえますか…



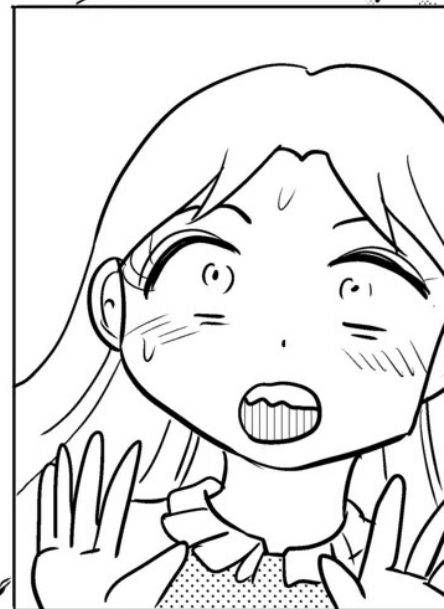
聞こえ…ますか…  
聞こえますか…  
ミリム…  
あなたの心に  
直接…話し  
かけています

はっ…  
こいつ脳内に  
直接…っ！

わたしは…  
クレシア…ふっ！  
…ふふふっ！  
くっくっ…！

なんなの…お前っ！  
魂がニコイチちゃん…  
っーかおっさんちゃん！  
えっ…マジで？  
おしっこ？飲むの？  
性癖やばすぎない？

ウケる！ヤバ！  
これはもうSSR  
あげるしか  
ないっしょ！



ふふふ…  
え〜ごほん!

お前の職業は  
「聖女」だ  
この世界を  
変える力をやる

あと…「ステータス」を  
おまけにつけてやるう  
っか魂がブレブレだな…  
困ってただろ? 治しておくぞ

じゃあな!

ミリム様っ!  
大丈夫  
ですか!

ガチャ

女神クレシアの降臨に  
神殿内は大騒ぎとなった

はやく  
大司教様を  
呼べ!

それで神託は  
なんだったんだ?

どうやら  
「聖女」らしい  
ほら…小便姫…

ああ…アレか  
助かるなこりゃあ!

えっ本当か?  
マジで? 何年ぶり?



この世界にはマナと呼ばれる  
エネルギーが満ち溢れている

人間に限らず生物は  
マナを取り込み  
マナを排出して  
生きているのだが：

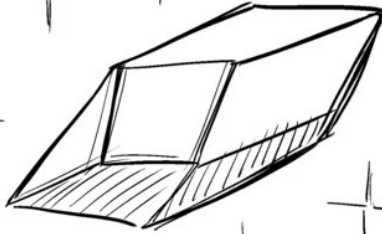
まれにマナの排出ができない  
個体が生まれることがある

それが人間であれば  
幼少の時にほぼ亡くなって  
しまうのだが  
動物の中には  
凶暴化しながらも  
生き延びるものがある

それが  
「魔物」だ

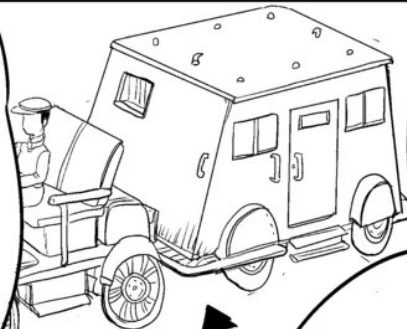
もう〜でたよ  
ファンタジー  
世界〜！

魔物の体内には  
「魔石」と呼ばれる  
マナの塊がある  
探索者たちが  
狩りで得た  
それは金銭で  
取引されている



魔術士によって  
錬成することで  
さまざまな  
魔動機械の  
エネルギーと  
なるためだ

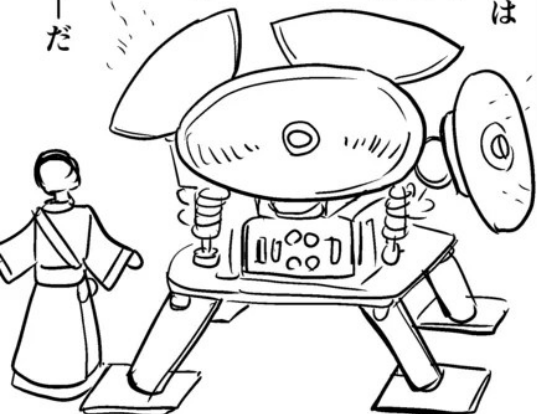
魔法科学っぽくなってきた：  
まあここ来るのに自動車  
乗って来たしな…



しかし年々技術の  
進歩と需要の拡大に  
よって魔動機の数  
増大の一途をたどる

そのため魔石供給では  
エネルギーが足りず  
技術発展が頭打ちに  
なってしまっていた

そこで長年かけて  
発明されたのが  
拡散マナアブソーバーだ



これは空中のマナを  
収集しマナパックに  
充電する魔機だ

1台で魔石還元より  
5倍ほどの効率化を  
果たしている

それは  
すごい  
革命ですね

さらに50年前に  
ある少女が初めて  
「聖女」の神託を  
受けてから  
状況が変わった

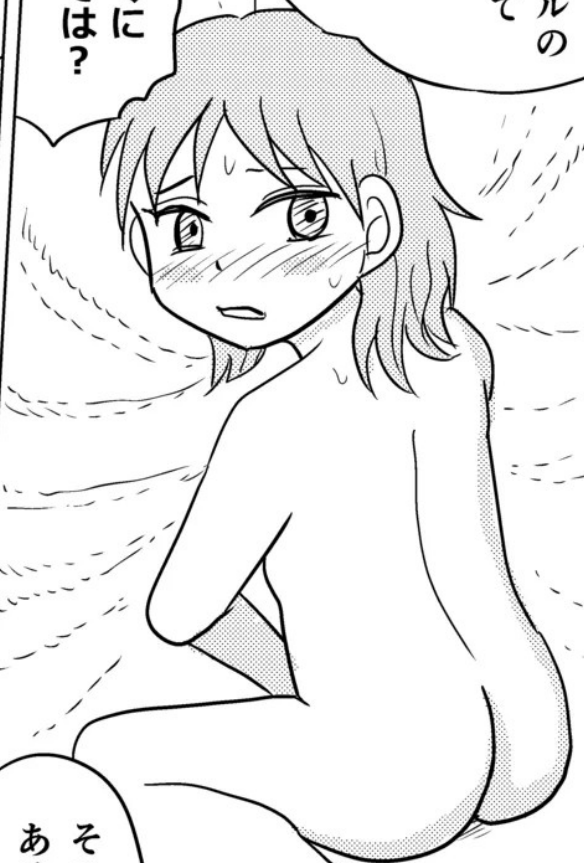
他国では数例あったのだが  
この国では初めてのことだった

その「聖女」のスキルの  
説明のため神殿にて  
調べたところ  
常人の数千倍の  
マナを常時体内に  
取り込んでいた

え…それではすぐに  
死んでしまうのでは？

聖女から排出される  
液体すべてに  
超高濃度のマナが  
含まれていることが  
わかったのだ

ん？液体？  
汗とか唾液…  
おしっことか  
ですか？



その後さらに調査が進み  
ある事実が明らかになる

察しのいいガキは  
好きだよ…

ライム、アメリカ  
尿検査の準備を

え？



# わがし

なにをしているのですか？

え？  
ちよっと

君のマナ濃縮量が先代と比べ  
どのくらいか知りたいからな  
検査をしなければならぬだろう？

神殿の業務  
ですから  
私はなにも  
申せません…！

ちよっと！  
イレーヌ  
見てないで  
助けて！

明確な規則があるのだよ  
「2人以上の資格を持つものが  
陰部より排泄せしものを  
目視して聖具により受け  
止めること」と

貴重なマナ原液の  
着服や勝手な希釈化を  
防ぐための決まりである…  
まあいいからさっさと出せ！

うっ…臭いです  
ミリム様ちゃんと  
洗ってます？

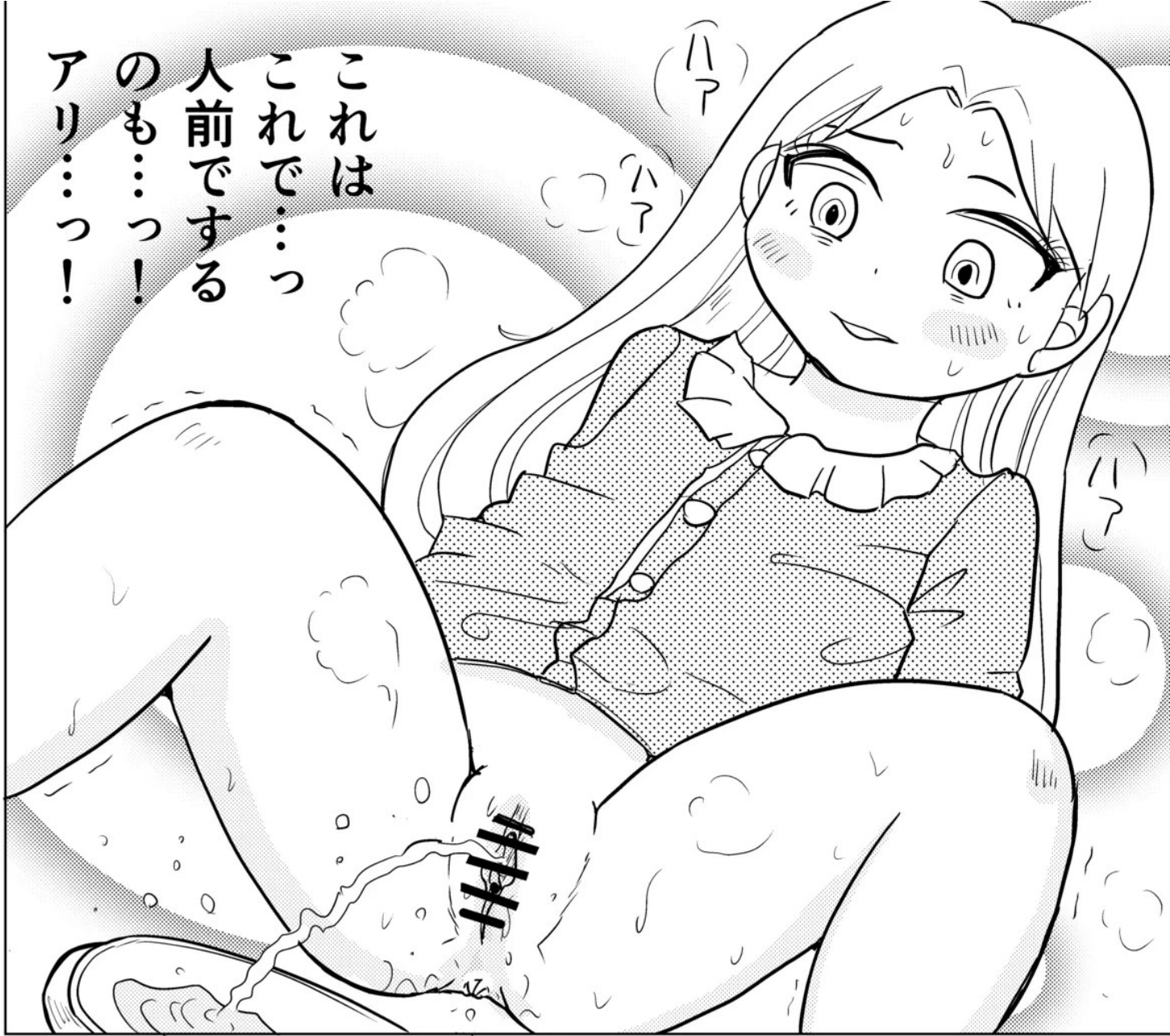
くっ…ミリムの  
記憶があるから  
恥ずかしい…  
けど…

前世であれだけ  
スカトロ風俗に  
行ってた「オレ」が  
拒否しきれない！

キュ

あっ  
出るっ…

おしっこおお！  
でりゅうっ！（棒読み



これは  
これで…っ  
人前でする  
のも…っ!  
アリ…っ!

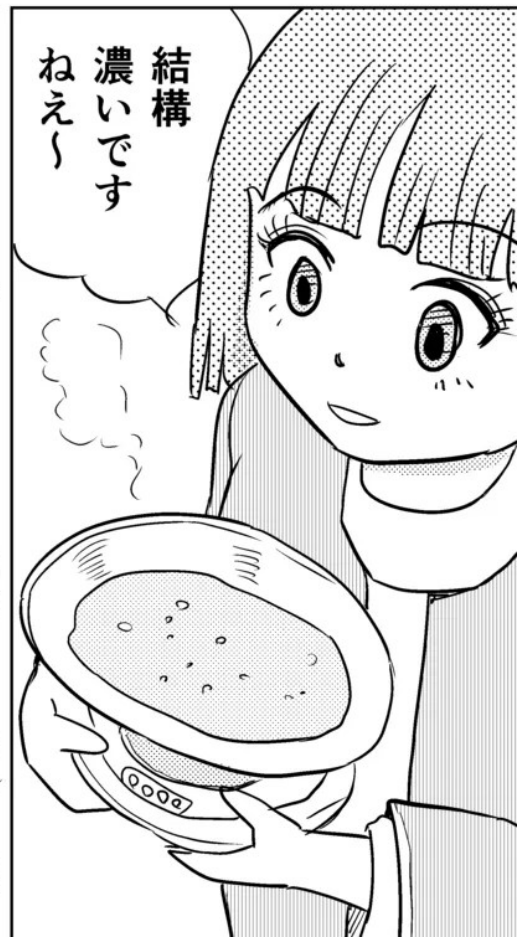


歴代聖女より  
はるかに  
魔素が高い  
ですよ!  
なっ…!



ええと  
これは…  
…えっ?  
ちよつと…

どうだ?  
ライム  
数値は…



結構  
濃いです  
ねえ

僥倖…これは僥倖！  
さらなる技術革新の  
可能性を秘めている…  
他の分泌物もすべて  
徹底的に調べる  
必要があるな

えっ？なんか  
実験動物ルート  
一直線なセリフ  
言ってるんだけど？

え？そうだが？  
他の国の聖女も  
そんな感じで暮らして  
いると聞くのだが？

そこは否定して  
ください！

あれ…待って  
他の国の聖女？  
おられるの  
でしたか？

ああ…クリネクス帝国  
スコッティ公国や  
クレシア総本山の  
エルモア神聖国にも  
聖女は何人かいる

この国にもいるが  
そのマナの効能は  
個人差があつてな  
いまだ研究中だ

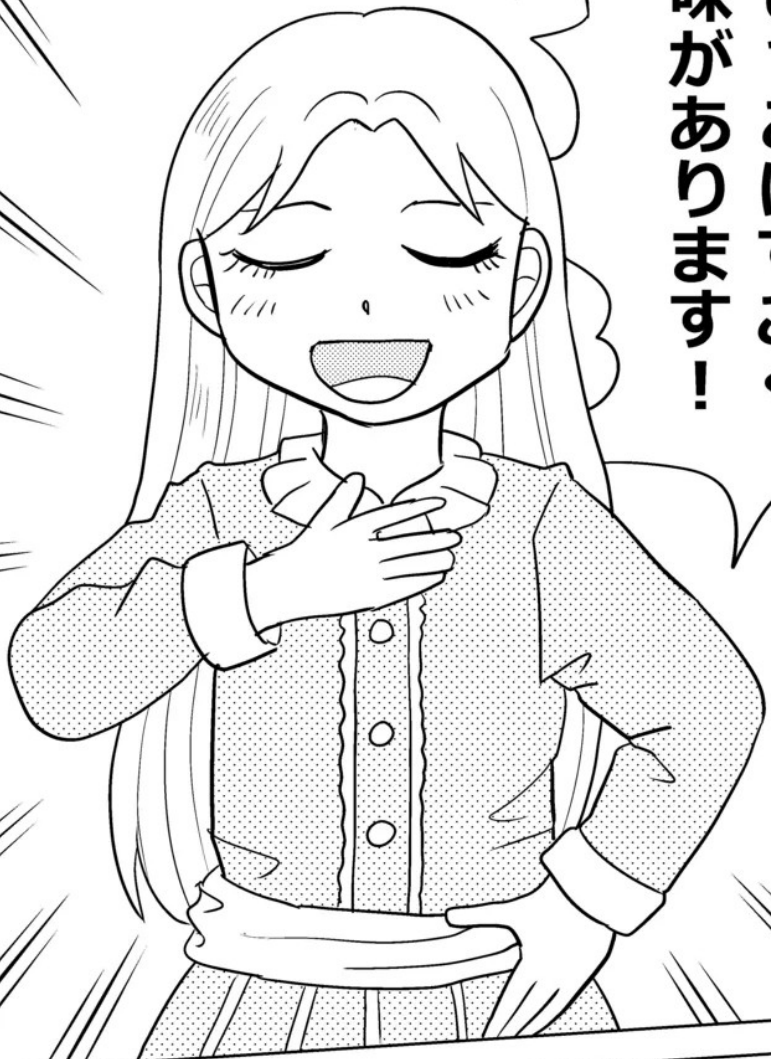
わ…私も  
その研究に  
参加したいです！

参加？いやミリム嬢が  
一般的な貴族としての  
教育を受けているのは  
わかるがそういう方面での  
知識は役に立たんぞ？

社交とかマナーとか  
淑女としての作法とか  
全然関係ないからな

あ…そうですね  
ちよつと興味があるというか  
あれなんですけどぶっちゃけ  
言うんですけどね…

他の聖女さんのおしっこにすごく興味があります！



あれ…？  
もしかしたら  
この聖女すこし  
おかしいのでは…？

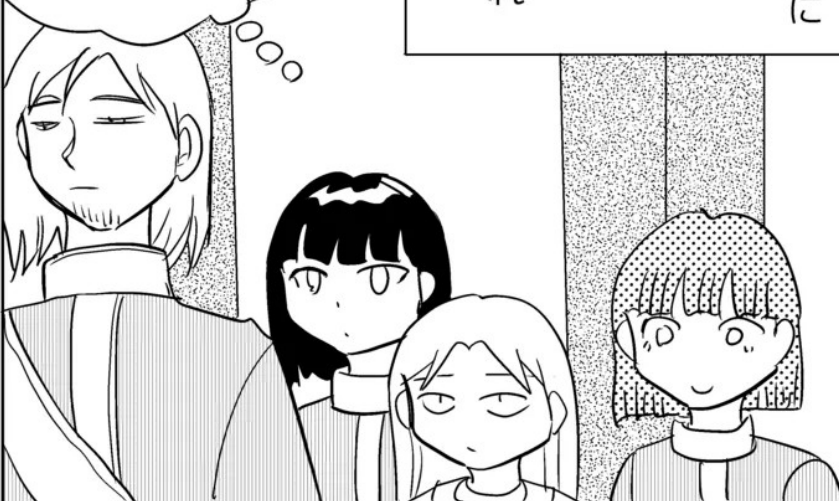


ミリムが「聖女」  
なったことは  
すぐさま  
ブルーレット家に  
伝えられた

一日中おしっこを  
回収するため聖女は  
神殿で暮らすことになる

末の娘を取られることに  
難色を示した伯爵で  
あったが神殿より  
多額の給金が毎月  
支払われると聞くと  
手のひらクルリした  
(イレーヌは任を解かれ  
屋敷に戻った)

親子といえども  
金の切れ目が  
縁の切れ目とは  
せちがらい…



こちらが君の部屋となる  
それと2人が側使えとなつて  
働くので必要なものは  
言うように

聖女としての業務などは  
明日から教えていく  
ではまた

わかりました  
ありがとうございます  
ございます

…さて  
改めまして  
ミリム様

わたしたちが  
側使えを  
担当させて  
いただきます

聖女付き  
神官補佐の  
ライムと  
申します

同じく  
巫女補佐の  
アメリカです  
よろしく  
お願いします

ありがとう  
ふたりとも  
よろしくね

さて…さっそく  
必要なものだけど  
…お腹が空いたわ

あっそうですね  
ご用意します

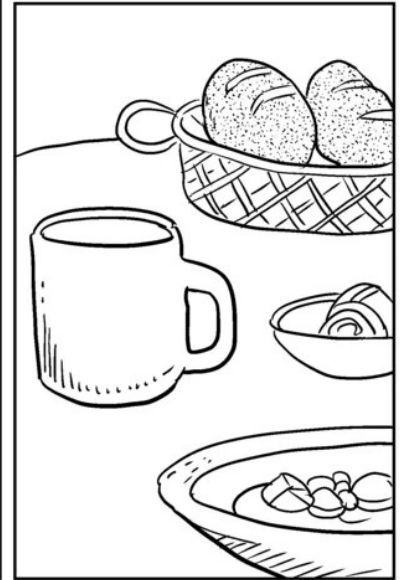
お部屋に  
お持ちしますか？  
それとも食堂へ  
行かれますか？

あゝ  
ちよつと考え事  
したいから部屋に  
お願いするわ



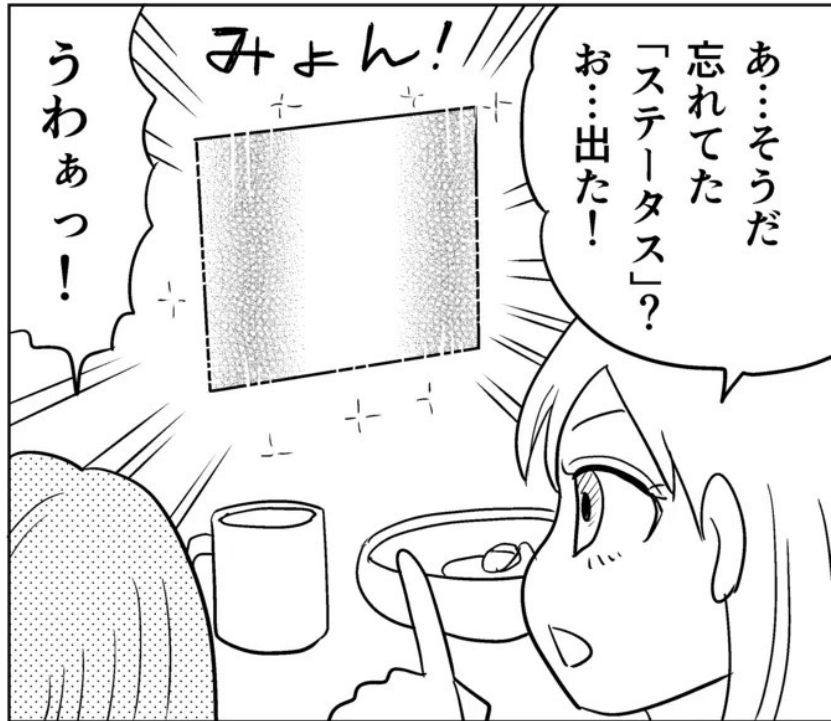
しかもあの女神…絶対に  
オレの前世の趣味をわかってて  
聖女にしただろ…ん？前世？

ふーやっど落ち着けたな  
しかしなんだマジで…  
異世界転生とか…TSとか…  
スキルを与えるとか…漫画かよ！



えっ？  
他の人にも  
見えるの？

ミリム様すごい！  
ステ画面スキルも  
あるんですね  
レアですよ！



うわあっ！

みょん！

あ…そうだ  
忘れてた  
「ステータス」？  
お…出た！



mana感知というのは  
どういうスキルかしら？

ツツコミどころが  
あるステータスだが  
まあいい…

…わたしは読めるわね  
たぶん聖女の能力なんじゃ  
ないかしら(すつとぼけ)

名前：ミリム・ブルーレット  
性別：女  
年齢：10(+40)  
職業：聖女(改)  
レベル 1  
HP：8/8 MP：0/0  
攻撃力 1  
防御力 0

スキル：  
ステータスボード  
mana感知  
mana付与(活性)

MENU

ええ…なぜか全然知らない  
文字なんで読めませんけど…  
ミリム様は読めるんですか？

ああ  
知ってます

視覚によりマナの濃度を  
知ることができるスキルです

測定用の魔道具を  
使えばきちんと  
数値化できるので  
それほど有用では  
ないですけど

ああさつき  
使っていた  
やつですね

ん…ごちそう  
さまでした

あ…！  
えーと…

いかが  
なさい  
ましたか？

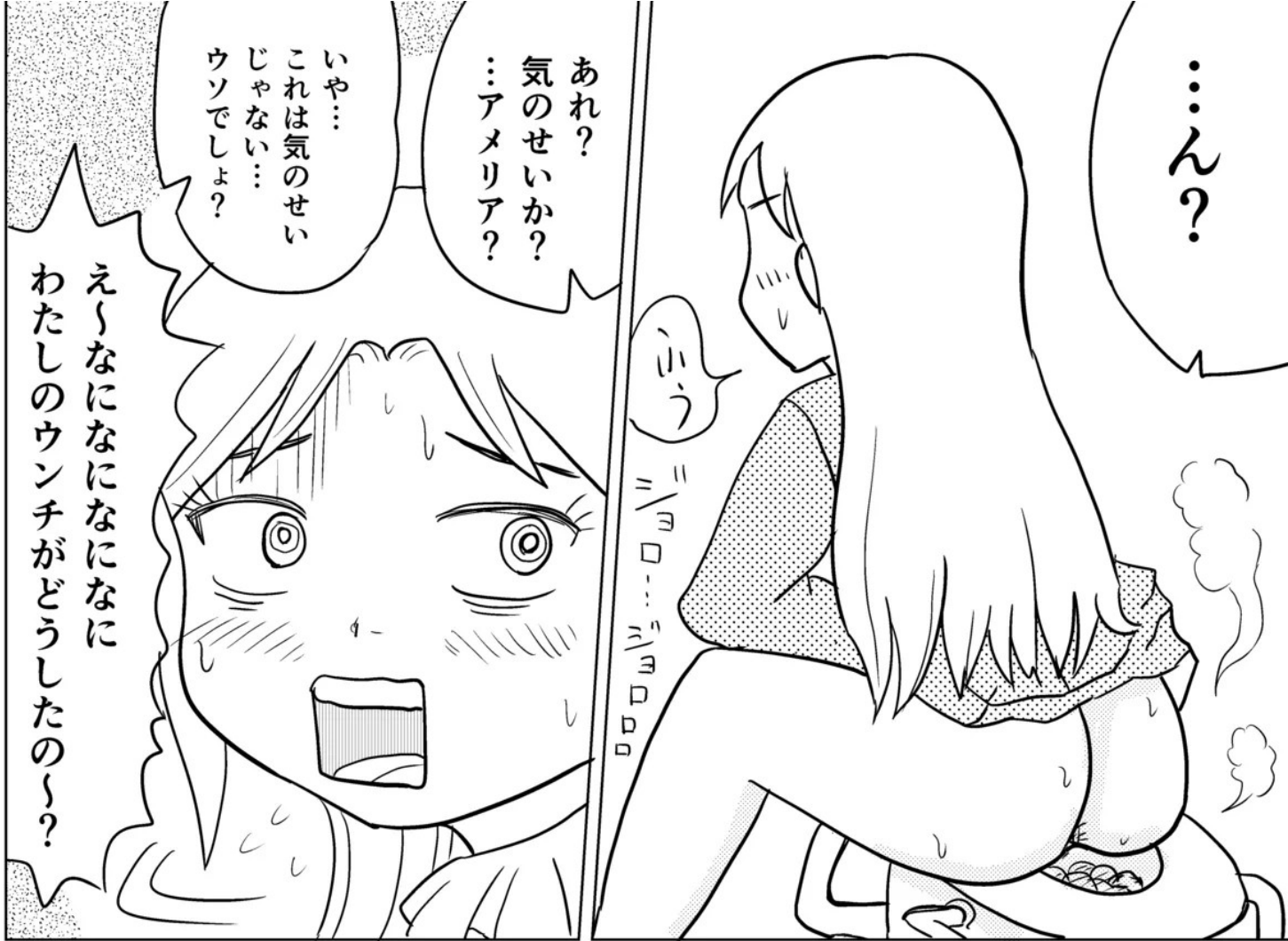
…大きい方を  
もよおしたの  
ですけれど  
どうすれば？

あっはい  
すぐにご用意  
いたします！

ホホホ

テレットレ〜♪

< 聖女専用便器 >  
糞尿を前後で分けて  
回収できるよ！



…ん？

ふう

あれ？  
気のせいかな？  
…アメリカ？

いや…  
これは気のせい  
じゃない…  
ウソでしょ？

えいになになになに  
わたしのウンチがどうしたの？

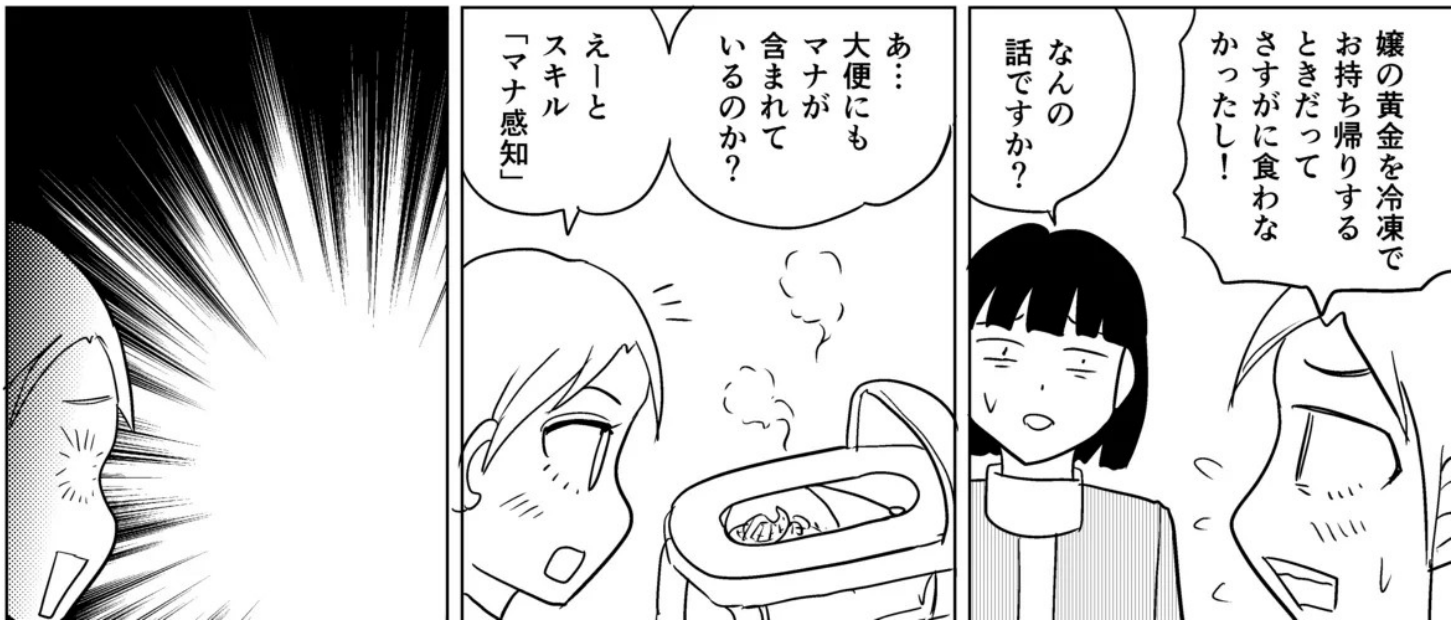


全然うんこくさく  
ないんですよ！

えー？それ朗報？  
朗報かな？！

むしろなに…これ  
ジャスミンの香り？  
さわやかさすら感じる？  
聖女様のって食べれる？

ダメだよ！危険物！老廃物！  
雑菌のかたまりなんだから！



嬢の黄金を冷凍で  
お持ち帰りする  
ときだって  
さすがに食わな  
かったし！

なんの  
話ですか？

あ…  
大便にも  
マナが  
含まれて  
いるのか？

えーと  
スキル  
「マナ感知」



なに  
やって  
いるん  
ですか

ぎゃあああ  
ああああ！  
まぶしくて  
目があああ  
つぶれ  
たあああ！



実家だと  
小さなバスタブ  
しかないし王都の  
公共浴場も  
行かせてくれ  
なかったので  
嬉しいです

うわああ  
大浴場があるなんて  
最高ですね！



貴族の子女を  
公共浴場に  
行かせる  
わけない  
ですよ

あれ  
ライムは？



子どものミリム様は  
いいかもですが  
わたしがイヤです！

別にわたしは  
構わないけど…

いやふつう男性とは  
一緒に入りませんよ！

その「イヤ」ってのはさ…  
恥ずかしいからだよな？

え？はい  
それは  
そうですよ

年ごろの  
女性であれば  
当たり前ですよ

ほほう

じゃあさく  
わたし今日  
強制的になにを  
やらされたか  
覚えてる？

あ…

そうだよ  
そうだよ

大司教様の前で  
おしっこして  
2人の前で  
ウンチして…  
乙女には到底  
耐えられない  
出来事でしたよ？

※本人はむしろ露出の  
快感に目覚めていました

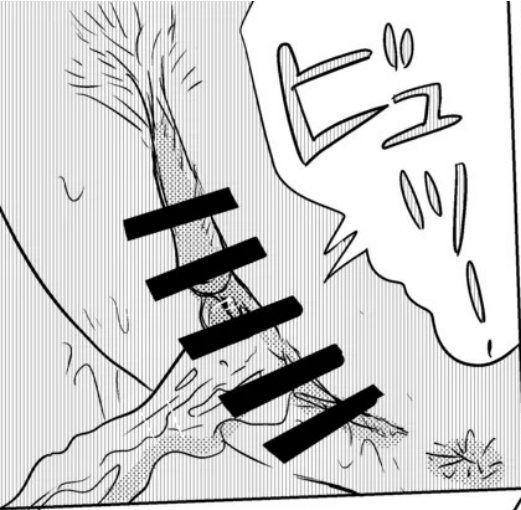
だからさく  
アメリカも  
お互いを  
さらけ出す  
意味でさ

そこで

おしっこ…  
してみてください？

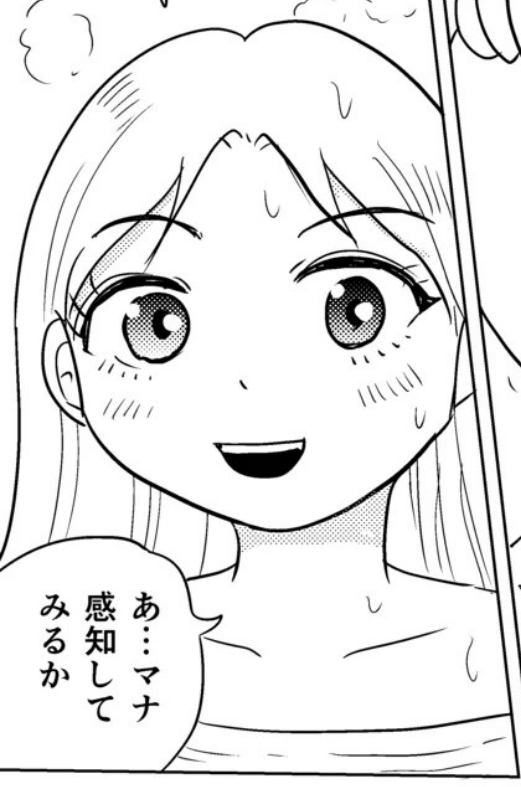
え？  
ちよつ…

し・ろ・よ



わ…わかり  
ましたあゝ

おお〜！  
アメリカの  
おしっこ  
初観戦や〜！  
めっちゃ  
ションベンくさー



あ…マナ  
感知して  
みるか



あつ…！  
ってオレなんで  
こんな冷静に  
処女マンコ&  
放尿プレイを  
見ていられる  
んだらうか…？



いやでも  
人が分泌する  
体液はほかにも  
大量にある  
それなら  
どうだろう？  
そうか…  
普通の間人だと  
こんなものか  
目はつぶれ  
ませんかあ…



うーん…？  
光ってる…のかな？

付いてないから  
ですねえ……

ミリム様  
ほらおしっこ  
しましたよ！  
恥ずかし〜！  
これで  
満足いたし  
ましたか！？

え？どうい感情？

帝国との戦争に  
聖女を？  
バカな  
彼女はまた  
女兒ですよ！

はあ…なるほどあの  
辺境伯が言いそうな  
ことですね

ふむ…まあたしかに  
彼女のマナならば  
異界召喚陣は使用  
可能でしょうね

はい…  
そうです

おしっこレベルですら  
あのマナ濃度ですから…

「勇者」を呼べる  
かもしれません

◆世界

エリエール王国、王都ネピア。  
位置的にはポルトガル&スペインあたりの感じ。  
西と南は海。西海の先は未知。南は別大陸だが交流はない。  
北はクリネクス帝国。  
東はエルモア神聖国とスコッティ公国。  
文明度 17世紀~19世紀前半

宗教は大陸の7割が信仰している女神クレシア教  
クレシアは実際に存在し、人間にスキルや加護を与える。  
10歳の誕生日に教会で付与される。

◆政治

中央集権制。王は存在するが、議会がある。  
平民議員と貴族議員がある。  
議員は定員があり、任期がある。  
任期を満了すると議員の投票によって次の議員が決定する。  
ただし、王によって推薦される議員の定数がある。  
王家は血統によって保持されている。  
男女問わず王となれる。長子が優先されるわけではなく  
王の指名と議員の一定数の支持によって決定する。

貴族階級はあるが、圧倒的支配者ではない。  
少なくとも平民の顔色を伺う必要はある。

◆マナについて

この世界で電気のように使われるエネルギー。  
空中に満ちており、時間経過によって生物の体内に溜まるが、一定の量を超えると尿や汗などとともに排泄される。  
動物の中にはマナを排泄できない異常個体があり、それらはいずれ狂い凶暴化する。それを魔物と呼んでいる。  
魔物はマナ乾電池とも言える魔石を体内に有している。  
魔石は国管理の組織により買取を行っているため、それを目的に魔物退治を職業としている人々もいる。  
人間の中にもマナを排泄できない個体がいる。  
吸収の度合いによっても異なるが、ほぼすべて幼少期に夭折する。  
そうならなかったなら…物語の重要な役割を担うだろう。

「聖女」はめちゃくちゃな量のマナを吸収し、めちゃくちゃ排泄し続けるという特異な存在。

ソーラーパネルのような魔道具により空中のマナを回収する施設が各所にある。太陽光発電所のようなもの。  
回収されたマナはマナ乾電池、一般には「バック」と呼ばれる魔道具に充電され、二次利用される。  
バックを接続することによって高熱を発生する機械や、回転運動をもたらすモーターが存在する。

マナは10m程度までであれば有線で伝達できる。  
そのため各家庭にはバックをセットして発電機としての役目を果たす機械があり、照明に利用される。

◆インフラ・文化

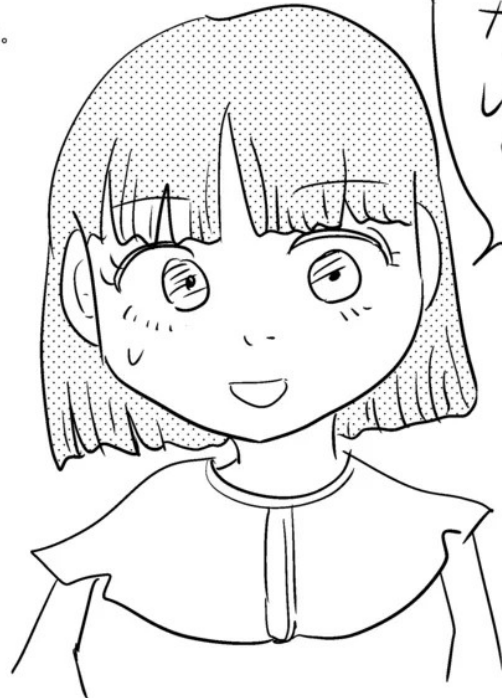
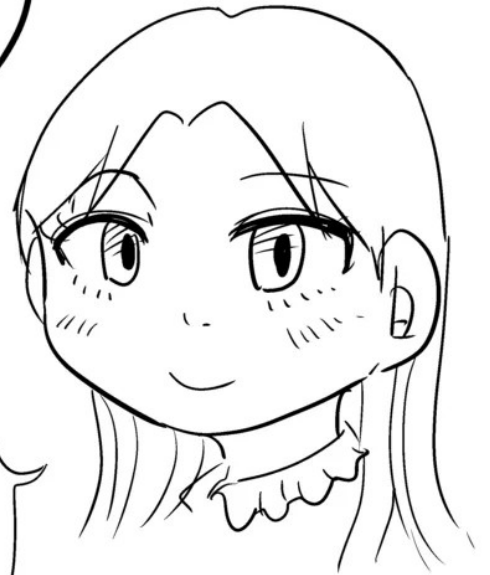
基本徒歩。馬車が一般的。  
乗合馬車は安価。魔導車は個人で所有している者は上層階級に限られる。  
王都にはレールを走る環状魔導車(実験運用)があり、都民の移動の足になっている。

中心には王城があり、霞が関や永田町がある。  
周囲を貴族や公務員の住居が占める。  
さらに外側に商業施設と住宅地が広がる。  
野外に魔物はいるが、定期的な討伐により大きな街に入ることはまれ。  
小規模な集落であれば柵を作る。  
都市には公衆浴場があり、入浴の習慣が普通。  
大都市であれば小学校に相当する学校があるが、義務教育ではない。  
学費もかかるためある程度の収入が無いと通わせることはできない。  
そのため子どものころから店の手伝いなどで労働をすることになる。  
ただし女神の神託によっては大逆転もあり。

高等教育は別にあるが、上層階級のモノ。  
識字率は職業により異なる。  
金属活字による印刷機はあり、本や新聞は流通している。  
写真技術はまだない。

大都市には上水道はあるが(井戸もある)、下水道はあまり普及していない。  
あふれた汚物を回収して川に捨てる仕事があったりする。  
ヤバイ。疫病が一定時期に起こり、問題となっている。

(以下、まだつづく)



どうも、作者のりかやです。  
というわけで新シリーズ開幕です。

表紙で着てるのに  
まだ出番がなかった聖女服  
デザイン変えるかも

「女子小」「没落令嬢」と現代劇が続きましたので  
中世ファンタジー世界を描きたくなりました。  
まあ中世というより産業革命寸前くらいの文化ですが。

主人公もただのおっさんではなく「医師」です。  
明確なスキルを持っている人間です。  
その職業が生かせるストーリー展開になります。  
まあ変態ですが。これからも変態です。

今回の話ではページの都合上あまり彼の内心は  
描けませんでしたが次話以降、ミリム・徳田の  
活躍にご期待ください。活躍する…たぶん。

私は「なろう」に代表されるネット小説などを  
毎日習慣で読んでいるのですが「こういうのが  
読みたいのに！」という思いを今作にぶつけて  
いきたいと思います。

あと今作はR 1 8になっていますが、話の展開上  
性器を描くことが多いのでそうなるため  
ガチエロ漫画という感じにはなりませんので…。

では次作でお会いしましょう。

TS聖女ちゃんは  
おしっこで世界を革命する 1

2024年5月発行  
サークル まのすた  
simihamu@nifty.com  
X manosuta\_rikaya  
pixiv 3876611  
印刷 サンライズ



